

早急に政治的な解決を！

JR不採用事件の早期解決を求める塩釜地区集会開催

10月7日に、塩釜市マリンドームに敬意を表し、地区平和ゲート塩釜にてJR不採用事件と労働組合議として支援をしたの早期解決を求める塩釜地区集会が80名の共闘、組合員がりました。

塩釜地区平和労働組合議長挨拶

この集会は10・24全国大会に向け全国・各地域で行われており、10月3日の宮城県集会に引き続き塩釜地区平和労働組合議の主催で取り組みました。司会の小野事務局長は、「先日第13回定期総会を開催し、八本の柱を確認した。その一つの国鉄闘争の支援を総会の中で確認してきた。この20年を越える国労のみならず



山下事務局長情勢報告

これまでこの闘いが継続している事を支えてきたのは国労と共に歩んできたのは私たちのような地域共闘が全国に広がっている現れ。10・24全国大会で、今日高まってきた闘いの機運をより強固なものにするための連鎖集会であり、再度国鉄闘争を解決のため前進する事をみなさんと共に確かめ、より強いものにしていきたい。」を訴えました。

連帯する会山下事務局長情勢報告

情勢報告では、国鉄闘争連帯する会・山下事務局長から、「7月14日の鉄建公団訴訟の東京高裁の控訴審において南裁判長が法廷外の話し合いによって和解をしてはどうかと発言した。それを受ける形で翌日冬柴国土交通大臣が誠心誠意努力したいと発言した。

その後日々緊迫した状況で進んでいる。福田総理の辞意等政治的な空白もでき、なかなか進んでいない。結論から言くと、初めて最初にして最後の解決に向けてのチャンスだと思っている。これまでも中労委での和解のあっせん等、色々な動きはあったが、今回初めて、相手側が明確に和解による解決を裁判所を挟んで具体的な闘争団の現状等の報告を行いました。

山下事務局長の報告の後、国労仙台地方本部・橋本委員長から、これまでの運動への協力の御礼と要請を行い、最後に庄司塩釜地区平和労働組合長の団結ガンバローで終了しました。

JR不採用事件の早期解決を求める宮城県集会開催

塩釜地区集会に先立ち、10月3日に仙台市・ハーネル仙台に200名を越える共闘、組合員が結集し、宮城県平和労働組合議の主催で宮城県集会が開催されました。

集会は、司会挨拶、来賓挨拶、主催者挨拶、仙台闘争団挨拶と続き、情勢報告では、国労本部・高橋委員長から、「この間22年間闘い続けてこられたのは、物資両面の大変なご協力を頂いた多くの仲間の支えがあった事」と支援の御礼を行い、これまでの取り組み、政治状況等の情勢報告を行い、国労仙台地本・橋本委員長からこれまでの取り組みの御礼と要請を行い、集会宣言を決議し、団結ガンバローで締めくくりました。



国労本部高橋委員長情勢報告